

1. ムーンショット型研究開発制度の5年目評価について

ムーンショット(MS)型研究開発制度では、運用・評価指針において、研究開始時点から5年目にCSTIが進捗状況等を評価し、MS目標の継続・終了を決定することが規定されている。

10個のMS目標のうち、本年11月末に開始から5年目が終了する目標1・2・3・6は、目標の継続・終了を決定する必要がある。

2. CSTIによる評価

<評価の進め方>

CSTI有識者議員懇談会におけるヒアリング及び意見交換等に基づき評価結果(案)をとりまとめ、CSTI本会議において進捗状況等を評価し、MS目標の継続・終了を決定する。

<評価結果(案)の概要>

目標1・2・3・6については、研究開発の進捗及び達成の見通しが確認できたため、ターゲットを変更した上で「継続」とする。

- 目標1 サイバネティック・アバターの開発・実証等、想定以上の進捗。ターゲットを上方修正し社会実装・民間投資拡大を目指す。
- 目標2 膵がんの超早期マーカーの発見等、着実な進捗。目標7との連携やスピンアウト等も進めつつ、社会実装につなげる。
- 目標3 AIロボットの試作品の実証等、着実な進捗。研究開発体制を刷新し、「汎用自律人型AIロボット」の開発に重点化。
- 目標6 世界初の論理量子ビット生成等、着実な進捗。小規模又は部分的な誤り耐性を持つ量子コンピュータの実現を目指す。

3. スケジュール

令和7年11月28日

令和7年12月1日

CSTI本会議

評価及び継続決定予定

MS型研究開発制度(目標1・2・3・6) 6年目開始予定